花尾神社本殿（附宮殿三基）・祝詞殿・幣殿・拝殿

【所　在　地】鹿児島市花尾町厚地4043番地
【種　　別】県指定有形文化財（建造物）
【指定年月日】平成１４年４月２３日

花尾神社は本殿（正面５間，側面２間に向拝３間付）と拝殿（正面５間，側面３間に向拝１間付）を祝詞殿（正面１間，側面１間）と幣殿（正面１間，側面３間）で繋いだ複合社殿である。その建立年代については，明確ではないが　建築様式から判断すると，本殿とその内部の宮殿三基が１８世紀前半，その他は１８世紀中頃と考えられる。

その特徴を，箇条書きで記すと以下のとおりである。

(1) 本殿は，中心である身舎を前後に分けて，前方を建具で囲んだ室とし，後方には，同形の宮殿三基が須弥壇に安置されており，本殿と同様の価値を有している。この形式は，県内にはなく貴重である。

(2) 本殿と拝殿の繋ぎは，１０メートル以上に及び，内部空間が縦に伸びている。拝殿は，横長で縦と横の広がりが本殿前をのびやかにして，見事な全体構成を持つ。

(3) 本殿板壁の絵画，出組（一手先），中備の蟇股，向拝柱の象鼻・龍の彫刻は，実に見事である。

(4) 祝詞殿，幣殿・拝殿の各天井に描かれた草花の絵４０１枚は，色彩構図が見事である。

(5) 全体としてまとまりがあり，彩色が美しい。